

カルタヘナ法におけるゲノム編集技術等検討会

(平成 30 年度第2回)

日時:平成 30 年8月 20 日(月) 13:30~15:30
場所:経済産業省別館 108 号会議室(1階)

議 事 次 第

1. 開 会

2. 議 題

(1)ゲノム編集技術のうち、カルタヘナ法で規定される遺伝子組換え生物等を作成する技術に該当する技術の整理について

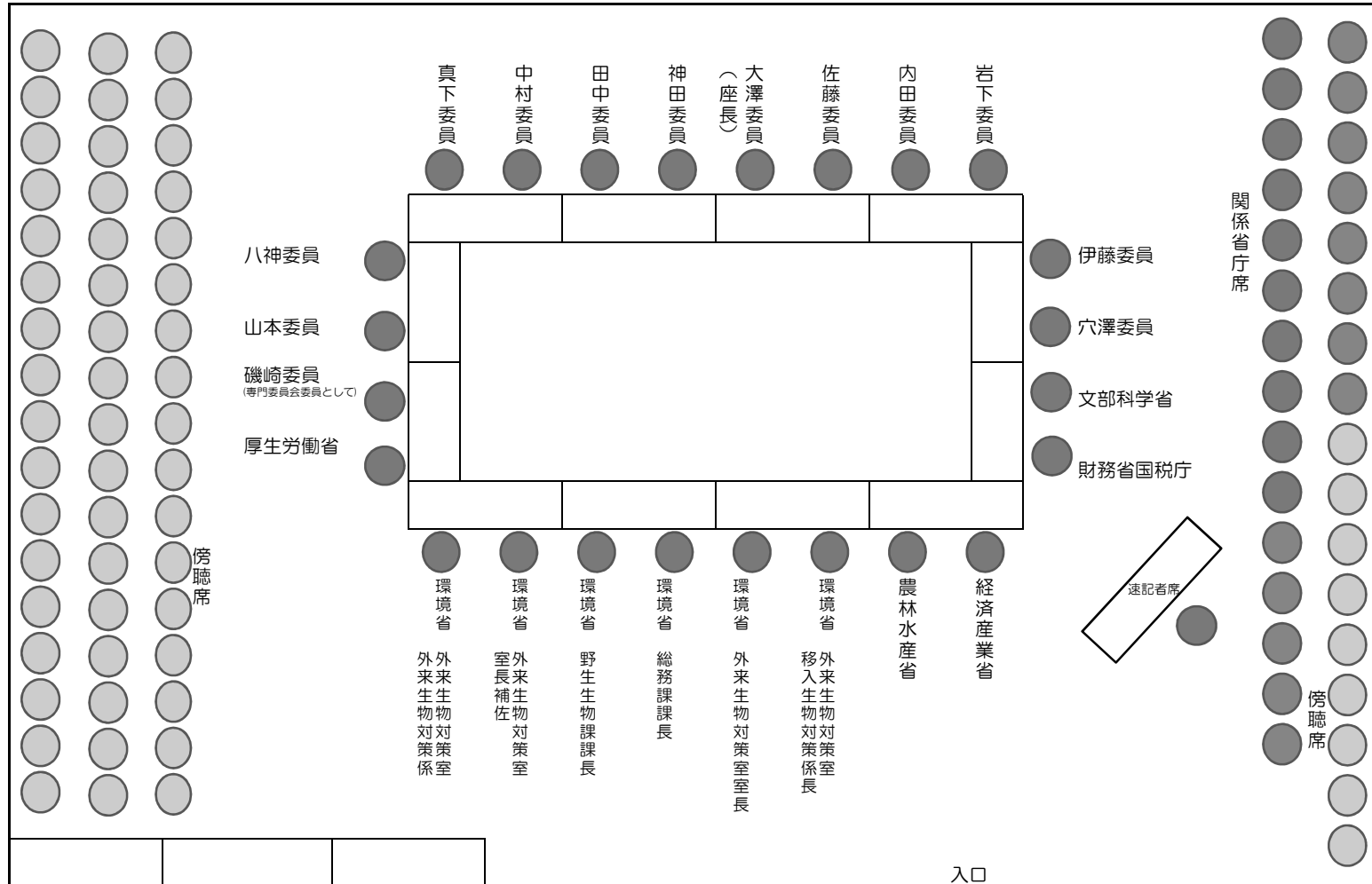
(2)(1)の整理においてカルタヘナ法の対象外となった技術に関する取扱いについて

(3)その他

3. 閉 会

カルタヘナ法におけるゲノム編集技術等検討会（平成30年度 第2回） 座席表

平成30年8月20日(月) 13:30~15:30 経済産業省別館108号会議室



資料一覧

○出席者一覧

(1) ゲノム編集技術のうち、カルタヘナ法で規定される遺伝子組換え生物等を作成する技術に該当する技術の整理について

資料1 カルタヘナ法におけるゲノム編集技術の利用により得られた生物の規制対象範囲 (案)

(2) (1) の整理においてカルタヘナ法の対象外となった技術に関する取扱いについて

資料2 ゲノム編集技術の利用により得られた生物等に係る取扱方針について (素案)

【参考資料】

参考資料1 カルタヘナ法におけるゲノム編集技術等検討会 (平成30年度第1回) 資料 (抜粋)

- ・ゲノム編集技術の概念の整理について
- ・設置及び運営方針
- ・委員リスト

参考資料2 カルタヘナ法におけるゲノム編集技術等検討会 (平成30年度第1回) の議事要旨

参考資料3 カルタヘナ法関係参照条文

カルタヘナ法におけるゲノム編集技術等検討会（平成30年度第2回）

出席者一覧

【検討会委員】

- 穴澤 秀治 一般財団法人バイオインダストリー協会先端技術・開発部長
伊藤 元己 国立大学法人東京大学大学院総合文化研究科教授
岩下 和裕 独立行政法人酒類総合研究所 成分解析研究部門長
内田 恵理子 国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部第1室長
○ 大澤 良 国立大学法人筑波大学生命環境系教授
神田 忠仁 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 戦略推進部プログラムスーパーバイザー
佐藤 忍 国立大学法人筑波大学本部副学長
田中 伸和 国立大学法人広島大学自然科学研究支援開発センター 遺伝子実験部門教授
中村 崇裕 国立大学法人九州大学農学研究院 生命機能科学部門准教授
真下 知士 国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科 附属共同研ゲノム編集センター長、准教授
八神 健一 国立大学法人筑波大学 医学医療系・生命科学動物資源センター特命教授
山本 卓 国立大学法人広島大学大学院理学研究科数 理分子生命理学専攻分子遺伝学研究室教授
○ 座長

【専門委員会の委員として】

磯崎 博司 岩手大学名誉教授

【関係省庁】

池永 敬彦 財務省国税庁課税部鑑定企画官付企画専門官
廣谷 龍輔 文部科学省研究振興局ライフサイエンス課生命倫理・安全対策室専門職
稲角 嘉彦 厚生労働省医薬・生活衛生局医療機器審査管理課課長補佐
吉尾 綾子 農林水産省消費・安全局農産安全管理課課長補佐
小出 純 経済産業省商務情報政策局生物化学産業課生物多様性・生物兵器対策室室長

【環境省】

永島 徹也 自然環境局総務課課長
堀上 勝 自然環境局野生生物課課長
北橋 義明 自然環境局野生生物課外来生物対策室室長
八元 綾 自然環境局野生生物課外来生物対策室室長補佐
岡本 敬子 自然環境局野生生物課外来生物対策室移入生物対策係長
山口 遥香 自然環境局野生生物課外来生物対策室外来生物対策係